

可能性は無限大!

challenge

青森で農業はじめました



新規就農者から学ぶ
就農体験談

令和6年2月
東北農政局青森県拠点

令和5年版
新規就農者マップ



青森県の新規就農者

目 次

	【南部町】田中 広大さん（就農4年目）	1
	【十和田市】畠山 聖さん、恵美さん（就農3年目）	3
	【六戸町】長根 淳一さん（就農5年目）	5
	【青森市】木村 真一さん（就農5年目）	7
	【鰹ヶ沢町】佐藤 洋平さん（就農4年目）	9
	【弘前市】古川 大主希さん（就農4年目）	11
	【田舎館村】葛西 貴大さん（就農3年目）	13
	【大鰐町】成田 正人さん、絵望さん（就農3年目）	15
	【むつ市】佐藤 航さん（就農5年目）	17
	【むつ市】大室 涼さん（就農5年目）	19
	【鶴田町】工藤 龍輔さん（就農5年目）	21

おいしい！子ども達の喜ぶ声が元気の源！

ミニトマト
寒じめほうれんそう
就農4年目

たなか

こうだい

田中 広太さん (32歳)



南部町

History (就農まで)

南部町出身。鳥取大学に進学し、地域振興を学ぶ。
在学中にゲストハウスの開業、海外に滞在、養蜂のアルバイトなどを経験する。
同窓生の綾乃さんと結婚。長女、長男が生まれ、サラリーマンとして生活する中、実家は代々専業農家。両親のノウハウを引き継ぎたいとの思いが募る。

就農を決意、家族と共にUターン！

就農にあたり、両親→南部町農林課→県に相談。
一年目から収入を得られる施設園芸を選択。
青森県営農大学校のシャトル研修で座学、機械操作等を学び、八戸市のトマト農家で実地研修を行った。
農地は農地中間管理機構から。ハウス施設1棟は自力で建設。機械等は両親から借用し初期投資を節減。
年間通した収入、労働力確保のため寒じめほうれんそうを栽培。

移住後に次男が誕生。ハウスに響く子ども達の笑い声を聞くと、自然と笑みがあふれます。

《活用した支援事業》

- ・農業次世代人材投資資金
(準備型1年)
(経営開始型4年目)
- ・農業経営基盤強化資金
(日本政策金融公庫)



Farm (経営概要)

- 経営面積：10a (ビニールハウス2棟)
- 栽培品目：ミニトマト、寒じめほうれんそう
- 主な保有機械：トラクターほか (両親から借用)
- 労働力：本人、妻、パート1名
(繁忙期：ママ友、人材サポートなんぶ協同組合ほか)
- 販売先：JA

Own Style (自分流)



暑さもピーク！
頑張りどき！



いい顔で働いてる！

最近、よく言われます。
初めは明け方まで作業したこともあったけど。

頑張りどきは不思議と朝早く目が覚めます。
ぐんぐん気温が上がる正午過ぎ、
しっかり食べて、ゆっくり休む。
出荷に向けて、
もうひと頑張り。

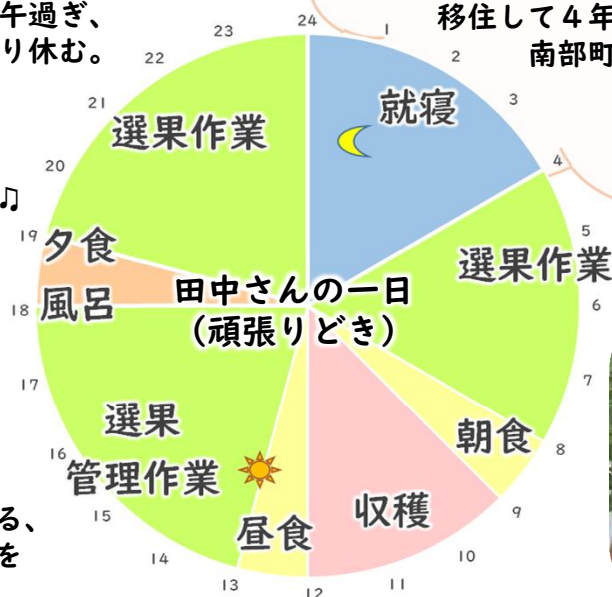
休日は丸々家族と過ごす♪
農業も、子育ても
自分流！

本物のおいしさを!!

有機農業を勉強中。
子ども達が、
「おいしい！」って頬張る、
安心・安全な野菜づくりを
目指しています。

なんぶピクニックマルシェ♪

食べて、遊んで、農業を学べる。
親子で参加できるイベントを開催！
移住して4年。子育て支援も充実の
南部町が大好きです！



Vision

(戦略・将来像)

栽培技術の向上。おいしさを追求しながら、
収量を確保。新たな販路を開拓する。
ハウス4～5棟に拡大し、有機栽培の定着を図る。
10年以内には両親と経営統合して、りんご栽培にチャレンジする。

Photo album

(写真集)

Message

(農業を始めたい皆さんへ)

『おいしい物を作る』これからは味で勝負する時代。良食味をキープしつつ、収量UPを目標にする。

『お金の使い方を考える』準備期間を設け、自分のスタイルを見つける。必要最低限のリストを作成優先順位を決めて計画的に使うことが重要。



たわわに実るミニトマト



ハウス内はワンダーランド



もぎたてを頬張る

子ども達が最優先！農家の働き方改革を目指す！

ねぎ・にんにく
就農3年目



はたけやま

たかし

畠山

聖さん (38歳)

右奥

えみ

恵美さん (38歳)

右前

十和田市

History

(就農まで)

十和田市出身。正義感が強くて、子どもの頃の夢は警察官だった聖さん。

一方、水稻、野菜を栽培する山あいの農家で育った恵美さん。

自分達に農業は向かないと思っていました。同じ食品加工・販売の企業に勤務する中、食品加工業は原料（野菜や肉）、一次産業がなければ成り立たない職業だと痛感…。

ものづくりを柱に、農業に夢が膨らむ

就農にはお互いの両親も賛成。

恵美さんの実家で栽培していたねぎ、年間通した仕事・収入確保のためににんにくを選択。

十和田市内のにんにく農家で栽培技術、青森県営農大学校で機械操作等を学び、大型特殊等の免許を取得した。農業機械、施設は借用できたが、農地の確保は難航。途方に暮れる中、研修先の紹介で畑1haを借りることができた。今後、規模拡大する際の課題。

週末は、畑に集合する仲よし5人家族。自分達のペースで、出来ることをひとつずつ頑張っています。

《活用した支援事業》

- ・農業次世代人材投資資金（準備型1年）（経営開始型3年目）
- ・アグリマイティー資金（JA）



Farm (経営概要)

- 経営面積：1ha
- 栽培品目：にんにく、ねぎ
- 主な保有機械：収穫機、管理機、にんにく植付機、にんにく堀取機ほか
- 労働力：本人、妻（繁忙期：母、近所の方々）
- 販売先：JA

Own Style (自分流)



畠山さんの一年

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12 (月)			
《にんにく》		R4年産 出荷終わり		R5年産 防除		→	→	収穫 調製 (出荷まで続く)		R6年産 植え付け		→	→	R5年産 出荷始め
《ねぎ》		は種		→	土づくり		定植		→	防除・施肥		→	収穫・出荷	



勤務時間は基本8時～17時！

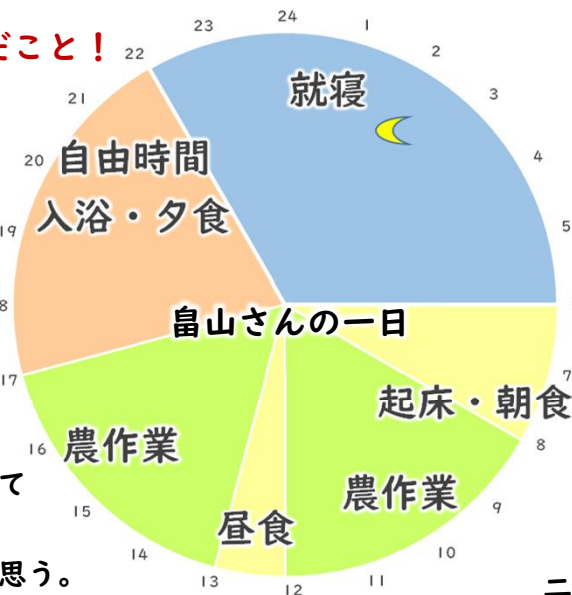
雨の日と学校行事のある日はお休み。
子ども達の予定で終業時間も臨機応変。
作業の遅れは取り戻すもの！あとから頑張る！
我が家の働き方改革実践中。

旅へ♪

年に一回は遠方に
目下計画中！
だけど…最近、
子ども達が忙しい🌀

一本のねぎから学んだこと！

毎年異なる天候
手植えと機械植え
肥料と農薬
組み合わせとタイミング
暑さと雑草との闘い
長さは同じでも
太さが違う
価格は雲泥の差
毎年こう…とか
だいたい…じゃなくて
経験と実績を見える化して
聞かれたら答える！
そんな農家になりたいと思う。



高校生・中学生・小学生
三人寄れば文殊の知恵
子ども達が成人するまで
あと10年は
ひたすら頑張る



農業に定年なし
二人のペースで健康、長生き
農業で余生を謳歌する！

Vision

(戦略・将来像)

二人で出来る最大の面積で良品質のものを
作る。にんにくは面積拡大。アンテナ
を張り、農地の確保、農業機械を取得し
ていく。日々のデータを蓄積、分析して、
栽培管理、経営計画に役立てていく。

Photo album

(写真集)

Message

(農業を始めたい皆さんへ)

農業に関してのTV番組や芸能人に惑わ
されないように。きっかけとしては良
いが、農業は収穫作業（良いところ）
だけではない。
ビジョン（計画）を作成すること。自
己資金は必要で、営農資金、生活費を
含め、お金の使い方を考えて欲しい。



息の合ったお2人です。



長男、長女頑張っています。



次男も箱作りでお手伝い。